

第2号様式

事業名	ポスターじゃっくによる沼津の魅力を伝える活性化プロジェクト Numazu Story Tailor Project～わたしだけをあつらえる街～
実施場所	商店街、地下道 等
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 令和7年6月1日～令和8年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載してください(事業の紹介などで使用します)。

沼津のマチナカを支えるこだわりのお店の商品を活躍する人に纏ってもらいポスターを作成。マチナカの魅力を詰めたポスターで、商店街等のパブリックスペースをジャック。マチナカの魅力を発信して、多くの人にワクワク体験をしてもらい更に輝くマチナカにする企画。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。
マチナカに通勤する人はいても、魅力に触れたことがなく、お店に足を運んだことがない人も多い。想いをあつらえることができるマチナカの魅力をポスター/ジャックを通じて伝え、良さをしってもらい、マチナカで楽しむ人を増やす。

◎實施內容

年間計画

6月 協賛企業（協賛金あり）の募集

7月 モデル募集と協賛企業への商品発注

10月 商品を纏った写真の撮影とポスター作製

11月 NSTP の PR 名刺ツールを作成

2月 ポスター展示

+ オープンスマジとのコラボ

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

- ・沼津に関わる人にマチナカの魅力を認識してもらうことで活性化につなげる。
- ・ポスターを見て写真を撮ってもらいたいと思えるワクワクなイベントにすることで、店に足を運び、サービスを受ける人が増え、マチナカが賑わう。
- ・マチソトの人にもイベントを通じて魅力をPRすることが、マチナカへ誘導するきっかけとなる。定期的に情報発信をして、将来的には、魅力あるマチナカのある沼津住民増加を目指す。
- ・ポスター展示を見た企業が、協賛企業になりたい、モデルになりたい、という声が、出てきており、当初2企業の協賛企業が現在4企業に。沼津を楽しむきっかけになっている。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル、企業の参加者数 ・SNS のアクセス数 		<ul style="list-style-type: none"> ・関係人の数 ・SNS の解析

◎評価の視点に合致していることの説明

※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。マチナカや商業施設など多くの人が利用する場所で、移動型の展示イベントを行うことで、関わる人に沼津の街中でワクワクしてもらう。何気なく利用されているパブリックなスペースを皮切りにインパクトのあるポスターを展示し公的な場所の活性化につなげる。継続して活動してきた成果として、企業や市民から楽ししそうだから参加したいという声が出始めている。当初、2店舗からスタートした協賛店舗も毎年1店舗づつ増え、4店舗まで拡大。</p>
地域性	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。イベントに楽しくかかわる関係人口から、賑わいを創出。マチナカを支える企業の魅力あるサービスを、沼津で輝くモデルに纏ってもらいポスター化。協賛企業4社は全てマチナカの靴屋、紳士服屋、呉服屋、装飾屋。そのお店の商品を纏うモデルは、老若男女問わず、さらには外国籍の方まで幅広い。それをポスターで表現できており、この企画によってマチナカの魅力を発信して関心を持ってもらう。</p>
独創性	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。このポスター展示は、沼津で活躍するヒトにマチナカの魅力ある企業の商品を纏ってもらいポスター化し、人と人をつなぐ試み。毎年、新しいことにチャレンジしており過去参加も50人を超えた。昨年はポスター撮影時の服装を纏い参加する交流会も開催し大盛況に終えた。今年は、関係者以外にも届けるために、オープンスマジとコラボして、駅近くの公共スペースを活用した路上ランウェイや昨年開催していた沼地下でのアート企画ともコラボしていきたい。</p>

実現性	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。</p> <p>沼津市主催のリブランディング塾でやった企画をベースに任意団体として1年活動。その後、4回開催することができた。更に自走できる仕掛けとして、協力金を負担する協賛店舗を増やし、モデルにデータを買い取ってもらう形を模索。今回は、協賛企業5社を目指す。モデルになる魅力を増やすしかけとして、過去参加者にNSTPのPR名刺を作成し配布し、協賛店、モデルの拡大につなげる。</p>
発展性	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。</p> <p>4年続けてきた沼津地下ジャックに加え、他の場所でも開催を続けてきた。この試みは継続していく。昨年は、関係者を対象に交流会を実施。見ていただく市民に届くためにも、参加しているモデルや協賛企業に楽しんでもらうためにも、今年は、オープンスマッシュとのコラボも検討。これによって、更なる協賛企業やモデルを継続することで、自走する仕掛けにしていく。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

今後の活動予定

- 令和8年度 沼津市内の複数個所でポスタージャックイベントを実施
 モデル参加者は10人を想定。店舗参加は6社程度への拡充を目指す。
 協賛金の拠出ある協賛企業を増やす。
 交流会は、オープンスマッシュともコラボできたら検討したい。
 過去の参加事業者、モデル、関係者に加え、興味のある市民も巻き込めるように、例えば駅前広場や商店街などを活用した沼津になじみのある場所で駅前ランウェイなどおこなうことを想定。
 モデルとなった方は、自身の撮影時に着用したアイテムを纏い、交流型ファッションショーとしても楽しめるようにするイメージ。
 沼津にかかる人たちが、繋がりを楽しめ、かつ、周りにもつたわるようにパブリックな場でのオープンランウェイ。
 アーカイブ展示を、広報ぬまづ等の公的な広報誌にて掲載してPRする。
 令和9年度 沼津市内の複数個所でポスタージャックイベントを実施
 モデル参加者は10人を想定。店舗参加は7社程度への拡充を目指す。
 ポスター撮影時のものを纏って参加するファッションショーを実施。
 市民にも見てもらえる仕組みを試案。他のまちづくり活動企業と連携する。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。

令和6年度

- ・4年連続マチナカの地下道でポスター展示を実施。参加モデルは9人となった。
- ・協力金の提供あるマチナカの協賛企業が1企業増えて5企業になった。
- ・過去のアーカイブ展示をマチソトのららぽーと沼津で継続して実施できた。
- ・過去参加者の交流会をマチナカのねこと白鳥で実施できた。

令和6年度は、新たな協賛企業として装飾のGINYAが加わり、ポスターに新たな彩が加わった。さらに、ららぽーと沼津の赤ちゃん本舗前で、2回目のアーカイブ展示ができたのも大きい。